

市長として「戦争法案」許さない立場を明確に

【問】市長は憲法擁護の義務を負う立場にある。違憲と言われている「戦争法案」に対する認識をお聞かせください。

【市長】憲法解釈の域を超える可能性も指摘されているところであり、より慎重な議論がなされるべきであると考えています。



【意見】憲法で禁じられた行為を地方自治体に押し付ける「戦争法案」は、廃案しかない。「平和と人権を守る都市宣言」の長として、「戦争法案」許さない立場を明確にすべきである。

学校トイレの改善について

【問】学校のトイレは洋式が少なく老朽化も深刻で、「ドアが古くてカギが閉まらない」「和式は使いにくい」など、改善の要望が多く出されている。現在の洋式化率と、今後の改修の計画は。



【答】小中学校の洋式トイレの割合は23%である。

【意見】屋外トイレは6%。トイレ整備の必要性は認識しているが、学校施設全体の老朽化に対応する大規模改修と合わせて検討していく。

【要望】学校は災害時に避難所となることもふまえて、計画的な改修を急いでほしい。

【問】市役所のトイレも洋式が少なく、高齢者等が利用しにくい。改善すべきでは。

【答】来庁者も多く、改善に努めたい。

子どものインフルエンザ予防接種助成の実施を

【問】子どもの医療費助成が中学卒業まで拡充され、喜ばれている。あわせて、子どものインフルエンザ予防接種の負担を軽減するため、市が助成できないか。

【答】任意の予防接種に對して助成することは、現在のところ難しい。



【要望】府下でも、徳島川市・箕面市が助成を実施している。受験生に助成している自治体もある。国の交付金も活用し、ぜひ助成を実施してほしい。

その他の質問

機能支援センターについて



高すぎる国保料の引下げを

【問】今年も国保料が値上げされた、昨年との比較はどうか。

【答】所得2百万円で、夫婦と子ども2人の4人家族の場合、1万2千円の増額である。

【問】国は今年度から、国保料引下げのための財政支援を実施。交野市も国保料を下げるべきと考えますが。

【答】7千万円の支援金を充当すれば、1人当りの国保料は3千5百円の軽減となる。

しかし、市財政を勘案すると困難と考える。

【要望】市財政は、積立て金を50億円に増やすなど、黒字状況である。一般会計からの繰入増額で、国保料の引下げを要望する。

資料①

国保会計に対する市の財政繰り入れ状況

平成・年度	1人当たりの繰り入れ額
22年	10,585円
23年	13,102円
24年	5,843円
25年	1,190円
26年	1,177円

星田北線の整備について

【問】市道星田北線（妙見口〜星田北方面）は、道路が狭く歩道がないため、通行が危険な状況である。安全な道路整備に着手すべきと考えるが、市の考えは。

【答】現在検討中の星田まちづくりの状況をふまえ、市の事業全体・財政状況との関係の中で、事業化に向けて検討していきたい。



資料② 国民健康保険料（平成26年と27年度の比較）

4人世帯（夫婦+子ども2人）の保険料

●所得100万円の場合

平成26年度	176,300円
平成27年度	181,900円
値上げ額	5,600円

●所得300万円の場合

平成26年度	508,500円
平成27年度	526,500円
値上げ額	18,000円

●所得200万円の場合

平成26年度	352,200円
平成27年度	364,200円
値上げ額	12,000円

1人当たり年間平均保険料

平成26年度	91,105円
平成27年度	92,372円
値上げ額	1,267円

ゆゆうバスの増便を

【問】共産党実施の「市民アンケート」では、ゆゆうバス増便を求める声は根強くある。高齢者の外出支援策をどう考えているのか。



【答】高齢者だけでなく市民全体の公共交通網の整備の検討が必要と考える。

【問】バスが減便されて、乗れない悲しい思いや行事に参加しにくい等の声がある、増便の見直しはできないのか。

【答】現在の運行形態で増便するのは困難である。

【要望】財政判断から1台減らされたが、基金は積み増し状態で財政は改善している。高齢者の外出支援として、ゆゆうバス増便を求める。

市政へのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

